

教材教具名	ぴょーん	教科（国語）	情報提供者（ ）
-------	------	--------	----------



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- ねらい： 「ぴょーん」の絵本を楽しんで見聞きし、かえるや猫の紙人形を跳ばしたり、跳ぶ様子に視線を送ったりすることができる。
- 発達段階など： 本校の発達段階別指導内容表国語科において、「Ⅰ笑顔での交流が育つ時期」～「Ⅲ話しことばを獲得する時期」における児童を対象とした。
- 使い方： 絵本「ぴょーん」の読み聞かせを見聞きした後、かえると子猫を登場させ、それぞれを教員が跳ばしてみる。その後、児童がかえると子猫のどちらかを選び、自分でも跳ばす。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

絵本の読み聞かせでも絵本に注目することができていたが、かえると子猫を跳ばすことを取り入れることで、跳ぶことを期待して出てきたかえるや子猫に注目できた児童もいる。目の前で跳ぶことで、跳びあがったことをびっくりするなどの感情の変化も感じることもできた。また継続して取り組む中で、登場の際に「おーい。」と掛け声をかけたり、かえると子猫のどちらにしようか葛藤する様子が見られたりと楽しみの中で様々な感情の変化を児童が体験することができた。

手を少しずらすだけで跳ぶので、意識して体を動かすことが苦手な児童も跳ばすことができた。また、かえると子猫の大きさや跳ぶ幅を変えることで（選べる児童は）選びやすかったのではないかと思う。